

年末年始等における 防疫対策の徹底をお願いします！

アフリカ豚熱及び口蹄疫については、中国、韓国等の近隣国を含むアジア地域に広く浸潤しています。特にアフリカ豚熱については10月に台湾の飼養豚において発生が確認され、日本が東アジアにおいて唯一の未発生国となりました。入国者等を介してこれらの疾病が我が国に侵入するリスクは依然として高い状況です。

高病原性鳥インフルエンザについては、現在、発生リスクが高い時期を迎えており、①早期通報の徹底②農場のウイルス侵入防止対策が不十分になっているところがないかの再点検が重要です。

豚熱については、引き続き、農場における飼養衛生管理の徹底を基本とした上で、適時・適切なワクチン接種の励行が重要です。

これから年末年始および旧正月の時期を迎え、人や物の動きが一層活発になることが見込まれます。引き続き防疫対策の徹底をお願いします。

- 1 海外（アフリカ豚熱、口蹄疫等の発生地域や非清浄地域）への不要不急の渡航は自粛
- 2 肉製品等を日本へ持ち込まないよう周知徹底
（特に技能実習生等の外国人従業員を受け入れている農場）
- 3 農場における病原体侵入防止対策の徹底
 - ✓ 衛生管理区域に入場する人・車両・物品の衛生対策（洗浄・消毒の徹底）
 - ✓ 専用の衣服および長靴の着用、手指消毒等を徹底
 - ✓ 野生動物の侵入防止対策（防護柵や防鳥ネット、畜舎の壁・天井等に穴や破損箇所、隙間等がないか再点検→不備があれば直ちに改善）
- 4 家畜の健康観察を毎日行い、異状を認めたときは、速やかに家畜保健衛生所へ連絡

東濃家畜保健衛生所

TEL : 0573-26-1111（内394） FAX : 0573-25-7669

休日・夜間に連絡の必要な場合は、警備室0573-26-1114 に電話し、「家畜保健衛生所に緊急に連絡が必要」とお伝えください。